

科目

地理総合

教科	地理総合	学科・学年	全科・1年	単位数	2
教科書	わたしたちの地理総合 世界から日本へ（二宮書店） 標準高等地図（帝国書院）				
副教材	新編フォトグラフィア 地理図説2022（とうほう）				

どんな科目？

現代の私たちの生活は、世界と様々な面で関わっており、世界の他の地域に住む人々の存在無しには私たちの日常生活も成り立たなくなっています。そして、世界中の人々とコミュニケーションをとろうとする時、生活・文化や価値観、ものの考え方の違いという「文化の壁」に直面することが多くあります。この科目では、その壁を乗り越えるすべを身につけるために、地域ごとに違いのある自然環境や社会環境について学習し、現在、抱えている様々な地球的課題の解決策も考えていきます。

学習の到達目標

社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

学習の計画及び評価方法等

学期	月	学習内容	学習のねらい・目標	評価の観点		
				知	思	主
1 学期	4	1章 地図とGISの活用	・球体としての地球、時差と生活、おもな図法による世界地図、地図の表現を理解する。球面上の正しい方位や時差、図法によって異なる世界地図の特色を理解し、以降の学習の基盤を築くとともに、日常生活で活用する力を身につける。 ・国家の3要素や国境のなりたち、領域における海洋の役割、日本と周辺諸国との間の領有権問題について理解する。国境や領土問題が国際関係、人々の生活におよぼす影響を考察する。	○	○	○
		1節 球面上の世界				
		1,2 球面上での生活				
		3 世界地図でとらえる地球				
	5	2節 国家の領域と領土問題	・外国で暮らす日本人を題材として、日本と諸外国との関係を理解する。国家間の結びつきを地域経済圏や国際連合を通して考察する。観光、交通・通信、貿易・物流の視点から、人や物・資本・サービス、情報の国際的な移動のようすを理解する。さまざまな統計地図や統計資料を分析し、表現する地理的技能を養う。 ・身の回りにある地図を題材にして、地図を用いた情報伝達の方法を習得する。地理情報の電子化について学習し、紙の地形図と電子地形図の違いや用途を理解し、活用する。地球儀ソフトや地理院地図などのGISソフトウェアを利用して地理空間情報を扱い、表現する技能を養う。	○	○	○
		1 国家の領域と海洋の役割				
		2 日本の位置と領土問題				
		3節 国内や国家間の結びつき				
	6	1 国家をこえた結びつき				
		2 観光による結びつき				
		3 交通・通信による結びつき				
		4 貿易・物流による結びつき				
	7	4節 日常生活のさまざまな地図	・世界的な視野から地球上の起伏の分布がプレートテクトニクスにもとづくプレート境界と関連していることを捉える。また、河川がつくる地形や海岸部の地形、それらの地形を活かした暮らしの特徴を学習し、写真や地形図によって具体的に読み取り、考察する技能を身につける。 ・世界的な視野から大気が循環する仕組みを捉え、日射のほか地形分布や海流などからも影響を受けて気候の地域性が生まれることを理解する。世界の各気候帯の自然環境の特色、人々の暮らしと工夫について、写真や雨温図、分布図などの資料から考察する。	○	○	○
		1 身の回りにあるさまざまな地図				
		2 地理情報システムのしくみと使い方				
		2章 生活文化の多様性と国際理解				
		1節 自然環境と生活文化				
		1 地球上の地形のなりたち				
		2,3 山地と平野/海岸部の生活				
		4 地球上の気候のなりたち				
		5 暑い気候 アフリカ				
		6 乾燥した気候 サウジアラビア・モンゴル				
		7 季節の違い 大陸の西岸と東岸				
		8 寒冷な気候 シベリア				

2 学 期	9	2節 産業の発展と生活文化 1 農業の地域性 2 農業 南アジア 3 工業の地域性 4,5 経済成長 中国 6,7 工業化 タイ・ベトナム	・世界の農業・工業・第3次産業の特徴と生活文化との関連性を捉え、その地理的環境や歴史的背景を理解する。また、アジア各地の事例地域の学習を通して、経済活動の国内・国際的な発展と、グローバル化による生活文化の変容を動的に捉え、主題図や写真などの資料を通して考察する。	○	○	○
	10	3節 言語・宗教と生活文化 1 世界の言語 2 世界の宗教 3 仏教圏の生活文化 4 キリスト教圏の生活文化 5,6 イスラム圏の生活文化 7 世界の多民族・多文化社会 8 社会の形成 ラテンアメリカ 9 多文化社会 オーストラリア	・世界の言語・宗教の特徴と分布、生活文化との関係を考え、その地理的環境や歴史的背景から地域的特色を理解する。また、現代社会における言語・宗教の変容を動的に捉え、主題図や写真などの資料から考察する。 世界の少数民族や少数言語、宗教対立、移民・難民などの現代社会の諸課題を理解し、互いに多様な文化を尊重する多文化共生社会の実現方法について議論し、考察する。	○	○	○
		4節 グローバル化の進展と生活文化 1～3 地域統合 EU 4～6 グローバル化 アメリカ	・EUの統合による産業や生活文化への影響、そして統合によって生じている経済格差や移民問題などの諸課題を理解し、ヨーロッパ各国の国家としての在り方の変容、EUと日本のつながりについて考察する。 ・アメリカ合衆国建国時から多様性を育んできた地理的環境・歴史的背景を理解し、グローバル社会で世界をリードする産業の発展と企業の国際化の過程を捉え、アメリカ合衆国の変容、日本とのつながりについて考察する。	○	○	○
	11	3章 地球的課題と国際協力 1節 人口・食料問題 1 世界の人口問題 2 人口増加 中国とインド 3 人口停滞 スウェーデンと日本 4 世界の食料問題 5 人口増加と食料問題 アフリカ	・世界人口の急増によって生じる問題を世界的視野から理解し、人口ピラミッドや主題図などの資料から問題の所在と解決のための取り組みを考察する。また、人口急増国だけでなく人口停滞国の事例を通して、各国の人口政策や諸問題について比較し、理解を深める。持続可能な発展のために、飢餓や飢饉などの食料問題と人口問題を関連させて理解する。その際、モノカルチャー経済や気候変動などの背景的要因も捉えながら、グローバル・ローカルな視点から解決方法を構想する。	○	○	○
	12	2節 居住・都市問題 1 世界の居住・都市問題 2 大都市 ロンドン・ニューヨーク 3 密集都市 メキシコシティ・ジャカルタ	・都市に人口が集中する要因を主題図や統計資料から読み取るとともに、人口集中によって引き起こされる都市問題についても写真などから判断する。また、途上国と先進国では異なる都市問題が発生していることを理解し、その構造的要因を考察する。都市問題を解決するための都市政策や科学技術の事例に触れながら、解決の方策を構想する。	○	○	○
3 学 期	1	3節 資源・エネルギー問題 1 世界の資源・エネルギー 2 エネルギー資源の生産・消費と課題 3 再生可能なエネルギーへの移行 4 鉱産資源 ロシア・オーストラリア・日本	・エネルギー資源の変化を世界的な視野から概観し、主題図や統計資料をもとに資源の偏在性、有限性、そして消費における地域格差などの諸課題を読み取る。エネルギー資源の持続可能な利活用と安定供給を実現するために、化石燃料や再生可能エネルギーのメリットやデメリットを比較し、国際協力の必要性、日本とのつながりについて考察する。	○	○	○
		4節 地球環境問題 1 地球温暖化の現状と将来 2 熱帯林の減少 アマゾン・東南アジア 3 砂漠化の進行 アラル海	・地球温暖化・熱帯林減少・砂漠化など、地球規模でおこっている環境問題の仕組みを構造的に理解する。地球環境を守り持続可能な発展を実現するためには、国際的な協力体制が必要なだけでなく、その背後にある政治・経済的な課題解決も求められることを考察する。また、環境問題と自分自身とのつながりを意識し、SDGsの因果関係も捉えながら具体的な取り組みを構想する。	○	○	○
	2	4章 生活圏の諸課題 1節 自然環境と防災 1 日本の地形・気候と生活 2～4 風水害/火山/地震・津波と防災 5 都市型災害と防災 6 防災・減災への心構え	・日本列島の地形や気候のなりたちと多様性について、主題図やグラフ、写真などの資料から理解する。また、日本列島では自然による恩恵だけでなく、風水害、火山、地震・津波、都市型災害などが発生することを世界的な視野から捉え、その要因と特徴、災害の地域性、防災や減災への取り組みや課題を考察する。新旧地形図やハザードマップなどを活用し、自らの生活圏の防災について考察し、表現する技能を身につける。	○	○	○
	3	2節 持続可能な地域づくり 1 地域調査の実施手順と方法 2～4 地域調査 軽井沢	・生活圏の課題を解決するための手法としての地域調査を実施し、身近な地域の魅力やかかえている課題を見だし、調査を踏まえてその解決策を考察する。地域調査の一連の手順を理解し、景観観察やアンケート・聞き取り調査など、さまざまな調査方法を活用する。調査結果や統計ツール、新旧地形図やデジタル地図、各種資料などによって得られた情報を多角的な視点から主題図やグラフにまとめ、将来に向けた地域のあり方を構想する。	○	○	○

評価の方法

年間5回の定期考査、ノート・学習プリントの提出状況、授業態度などを総合的に判断して評価します。

科目

現代社会

教科	公民	学科・学年	全科・2年	単位数	2
教科書	現代社会（東京書籍）				
副教材	新編テーマ別資料 現代社会2022（東京法令）				

「現代社会」はどんな科目？

中学校の「公民」を思い出してもらえば大体の見当がつくと思います。現代社会は実に様々な問題を抱えており、そのしきみは複雑になっています。これから社会に出る君たちには、現代社会が持つ問題について主体的に考え、公正に判断する力を養い、良識ある公民として必要な能力と態度を身に付けてもらうことを目標に学習します。

「現代社会」の学習の特徴・特色は？

現代社会は暗記科目だと思いませんか？語句をしっかり覚えることも大切ですが、実は考える過程も重要な意味を持つ科目です。社会が持つ様々な問題を知識として知っていても、自分と関わりのあることだと認識して問題を解決していかう、実践していかうという気持ちを持てなければ、良識ある人（公民）とはいえません。ですから、現代の社会が抱える様々な諸問題の基本事項を理解した上で、自分はどうか考えるのか、何をしていけばよいのかということをもとめ、自分の言葉で発表できる（自分の意見を主張できる）力をつける学習をします。

また、激動する国際社会の現状を知るために、日々の新聞やテレビのニュースなどを積極的に活用し、国際社会に生きるものとして必要な能力と態度を身に付けていきます。もちろん就職試験にも役立ちます。

学習の計画

	月	学習内容（単元名）	学習の到達目標
1 学 期	4	第1部 わたしたちの生きる社会 テーマ1 地球環境と資源・エネルギー テーマ2 科学技術の発達と生命 テーマ3 情報化の進展と生活	・現代の社会が持つ様々な課題について理解し、解決に向けた取組みについて理解する。
	5	第1章 青年期と自己形成の課題 1 現代社会と青年の生き方 ①現代社会の特質 ②現代社会における青年 ③自己形成と社会とのかかわり ④進路と生きがいの創造 2 よりよく生きることを求めて ①哲学と人間 ②宗教と人間 ③近代科学の考え方 ④人間の尊厳 ⑤人間性の回復を求めて ⑥日本の伝統思想の考え方 ⑦外来思想の受容と日本人の自覚	・青年期の特質を理解し、また、哲学や宗教の根元を知ることを通して、自己の生き方について改めて考える。 ・人間としてまたは日本人としてのあり方・生き方を考える。 ・現代社会が目指した民主主義と人間の尊厳という考え方について、理解を深める。
	6	1 民主政治とは ①民主政治の成立 ②基本的人権の確立 ③世界の政治体制 2 日本国憲法の基本原理 ①日本国憲法と三つの原理 ②基本的人権の保障（1） ③基本的人権の保障（2） ④新しい人権と人権保障の進展 ⑤平和主義と安全保障	・基本的人権の尊重、人民主権、権力分立について内容と意義を理解する。 ・直接民主制と間接民主制についてその特性を理解し、民主主義の理念を実現させる方法を考える。 ・世界の政治体制（議院内閣制・大統領制・権力集中制）について理解する。 ・日本国憲法の基本的原則について学び、基本的義、平和主義について考える。 ・基本的人権が保障されるに至った経緯を、具体的事例をあげて考察し、理解する。
	7		
	9	3 日本の政治機構 ①国会と立法	・国会の役割や権限を理解し、国会の働きの重要性について考える。

学 期	2	②内閣と行政 ③裁判所と司法 ④地方自治 4 現代政治の特質と課題 ①選挙のしくみと課題 ②政党と利益集団 ③世論と政治参加 第3章 個人の尊重と法の支配 1 個人の尊重と法の支配 ①法の支配と人権 ②市民生活と法 ③司法と人権 ④他者とともに生きる 第4章 現代の経済と国民福祉 1 経済のしくみ ①経済社会の変容 ②現代の企業 ③市場経済のしくみ ④国民所得と経済成長 ⑤金融のしくみと働き ⑥中央銀行の役割と金融の自由化 ⑦政府の役割と財政 2 変化する日本経済 ①戦後復興と高度経済成長 ②産業構造の転換と国際経済環境の変化 ③経済のバブル化とその後 ④日本経済の現在 ⑤中小企業と農業 3 豊かな生活の実現 ①自立した消費者への道 ②労働者の権利 ③現代の雇用・労働問題 ④社会保障の役割 ⑤環境保全と循環型社会 第5章 国際社会と人類の課題 1 国際経済のしくみと動向 ①貿易と国際分業 ②外国為替のしくみと国際収支 ③戦後国際経済の枠組みとその変化 ④対立と協調の時代 ⑤グローバル化の進展 2 国際政治のしくみと動向 ①国際社会の成り立ち ②国際紛争を避けるしくみ ③国際連合の現状と課題 ④東西対立とその後の世界 ⑤核兵器と軍縮への取り組み	・内閣の権限を理解し、日本の行政にはどのような改革が求められているかを考える。 ・裁判所や司法権の特徴を理解し、司法をめぐる課題について考える。 ・地方自治が抱える問題点を中央政府との関連づけてとらえ、地方自治のあり方を具体的に考察する。 ・選挙制度の具体的なしくみや政治の課題について理解し、今後どのような取り組みが求められているかを考察する。 ・マスメディアが世論に与える影響について、具体的な事例を通して理解し、様々な考え方があることを踏まえて公正な判断力を養う。 ・法の支配と立憲主義の意味を理解する。また、経済生活や紛争の調整と解決に法がどのような役割を果たしているかや裁判員制度などについて考える。 ・現代の経済社会における企業の働き、公的部門の役割、租税、金融機関の働きなどについて理解する。 ・技術革新と産業構造の変化、雇用と労働問題、公害の防止と環境保全などについて学び、経済主体としての企業や個人の社会的責任について考える。 ・ブラザ合意後の日本経済の歩みを、不良債権問題、金融ビッグバン、財政危機などの今日的な問題と関連させながら理解する。 ・公定歩合の変動に関するグラフを、具体的にブラザ合意後の景気変動と関連させて考えることができる。 ・悪徳商法などの消費者問題、リストラ・過労死・男女雇用機会均等法などの労働問題、介護保険・年金問題などの社会保障問題などを、自分の生活と結び付けながら考えることができる。 ・貿易の意義と国際収支の現状、為替相場のしくみなど、国際経済の基礎的な事項について理解させる。 ・反グローバリズムの運動などを例にとり、ボーダーレス化する経済の光と影を認識させる。「地球規模で考え、地域で行動する」ことの重要性を理解する。 ・「社会主義・資本主義」、「第二次世界大戦後に植民地支配から独立した発展途上国」など今日の国際社会の構造を理解する。
	3	3 国際社会の現状と課題 ①地域統合の進展 ②多様化する世界経済 ③南北問題 ④人口・資源・食料問題 ⑤民族問題と紛争 ⑥国際社会と人権 ⑦日本の役割 第3部 ともに生きる社会をめざして 1 若者の労働環境をどう改善するか？ 2 ごみの分別・回収の負担の意義とは？ 3 安心して豊かに暮らせる社会にするには？ 4 発展途上国の開発を促す貿易の在り方は？ 5 エネルギーを持続的に利用可能にするには？ 6 少子高齢社会における世代間格差をどうするか？	・「人権・国家主義・領土」に関する国際法の意義、「人種・民族問題、核兵器と軍縮問題、日本の安全保障と防衛」について理解する。 ・日本の国際貢献に関する問題を、テロ対策特別措置法・ODA・平和憲法などを例にとりながら、国際社会における日本や個人の果たすべき役割や責任を考える。 ・「個人と社会」「社会と社会」「現役世代と将来世代」といったさまざまな問題を取り上げ、持続可能な発展に結びつく答えについて考える。
	1		

評価の方法

定期考査を中心（7～8割）に、授業への取り組み、ノートや提出物（レポート）などの提出状況や内容、その他小テストなどを総合的に判断して、評価します。

科目

世界史 A

教科	地理歴史	学科・学年	全科・3年	単位数	2
教科書	明解 世界史A (帝国書院)				
副教材	明解世界史図説 エスカリエ 十四訂版 (帝国書院)				

「世界史A」はどんな科目？

近現代史を中心とする世界の歴史を、我が国の歴史と関連づけながら理解させ、人類の課題を多角的に考察させることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養う。

「世界史A」の学習の特徴・特色は？

世界史で扱う内容は中学までの教科書のなかにはあまり多く出てきませんが、「日常」のなかにそのカケラがたくさん隠れています。それを見つめながら、授業に取り組んでみましょう。

世界史の授業では、広い範囲（世界各地）を扱い、多くの単語・用語（人名や事件名等）が出てきます。

その単語一つ一つをバラバラにみていると、「全体」が見えなくなります。個々の事象相互の関連（原因、影響など）を意識し、「全体」を一つの「流れ」として見ていくようにして学習を進めていく必要があります。はじめは少し苦勞するかも知れませんが、慣れれば難しいことはありません。一緒に下記の項目を目標にして学んでいきましょう。

①世界の諸地域の歴史および伝統文化・生活様式の特徴を学び、国際理解を深める。

②歴史の時間的経過や時代ごとの特徴を把握できるようにする。

③世界史およびアジア諸地域の歴史と日本・沖縄の歴史の関わりを学び、歴史認識を深める。

④近現代史を中心に学習し、現代社会に至る過程を振り返りつつ、これからの社会はどうあるべきかを考える。

学習の計画

	月	学習内容（単元名）	学習の到達目標
学 期	4	1部 世界の一体化と日本 序節 人類のはじまり	・人類の登場と、農耕・牧畜による食料生産を基礎にして人類が文明を築き歴史時代へ入っていくありさまを地域ごとに概観し、文明圏が形づくられていく過程を理解する。 ・東アジアの風土と諸民族、封建制度、漢字文化圏、儒教思想、律令体制、文治主義、国際関係（冊封体制）などを通して、日本を含む東アジア世界の特徴を理解する。
		1節 東アジアの文明	
		2節 南アジアの文明	
		3節 東南アジア	
	5	4節 西アジア・北アフリカの文明	・南アジアの風土と諸民族、カースト制、仏教の成立、ヒンドゥー教、イスラームの影響などを通して、南アジア世界の特徴を理解する。 ・自然環境や地理的位置に着目し、南アジア文明と中華文明のはざまで強く影響を受けながら、それぞれの地域で多様な社会・文化を築いていった東南アジア世界の特徴を理解する。
		5節 ヨーロッパの文明	
		1学期中間考査	
		6節 南北アメリカの文明	
	6	7節 ユーラシアの交流圏	・西アジアの風土と諸民族、オリエント文明・イラン文明の伝統にふれ、基層となる西アジア世界の特徴を把握する。イスラームの成立と拡大・分裂などを通して、イスラーム世界の特徴を理解する。 ・ヨーロッパの風土と諸民族、ギリシア・ローマ文明の伝統、キリスト教の発展、封建社会などを通して、ヨーロッパ世界の特徴を理解する。 ・南北アメリカの風土と先住民にふれ、ヨーロッパ・ギリシアの直接民主政の特徴と、ローマ帝国が地中海世界を統一する過程を概観する。 ・8世紀以降の諸地域世界の交流の深まりにふれ、ユーラシア規模の交流圏の成立とそれを支えた都市や港のネットワークについて理解する。ユーラシアを舞台に展開された海域世界、遊牧世界、地中海海域、東アジア海域のうち2テーマを選択する。
		2章 一体化に向かう世界 1節 繁栄するアジア	
		2節 大航海時代と新たな国家の形成	
		3章 欧米の工業化とアジア諸国の動揺 1節 ヨーロッパとアメリカの諸革命	
		1学期期末考査	・アジアのティムール、オスマン、ムガル、明、清などの諸帝国の政治と社会にふれ、この時期に安定した支配と経済の繁栄を背景に、文化の黄金時代を迎えたことを理解する。 ・産業革命、フランス革命、アメリカ諸国の独立、拡大する貿易活動などを通して、西ヨーロッパとアメリカに産業社会が成立し、市民社会及び国民国家の形成が進行したことを理解する。

2	9	2節 自由主義・ナショナリズムの進展	10	学	期	11	12	3	学	期	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	100	101	102	103	104	105	106	107	108	109	110	111	112	113	114	115	116	117	118	119	120	121	122	123	124	125	126	127	128	129	130	131	132	133	134	135	136	137	138	139	140	141	142	143	144	145	146	147	148	149	150	151	152	153	154	155	156	157	158	159	160	161	162	163	164	165	166	167	168	169	170	171	172	173	174	175	176	177	178	179	180	181	182	183	184	185	186	187	188	189	190	191	192	193	194	195	196	197	198	199	200	201	202	203	204	205	206	207	208	209	210	211	212	213	214	215	216	217	218	219	220	221	222	223	224	225	226	227	228	229	230	231	232	233	234	235	236	237	238	239	240	241	242	243	244	245	246	247	248	249	250	251	252	253	254	255	256	257	258	259	260	261	262	263	264	265	266	267	268	269	270	271	272	273	274	275	276	277	278	279	280	281	282	283	284	285	286	287	288	289	290	291	292	293	294	295	296	297	298	299	300	301	302	303	304	305	306	307	308	309	310	311	312	313	314	315	316	317	318	319	320	321	322	323	324	325	326	327	328	329	330	331	332	333	334	335	336	337	338	339	340	341	342	343	344	345	346	347	348	349	350	351	352	353	354	355	356	357	358	359	360	361	362	363	364	365	366	367	368	369	370	371	372	373	374	375	376	377	378	379	380	381	382	383	384	385	386	387	388	389	390	391	392	393	394	395	396	397	398	399	400	401	402	403	404	405	406	407	408	409	410	411	412	413	414	415	416	417	418	419	420	421	422	423	424	425	426	427	428	429	430	431	432	433	434	435	436	437	438	439	440	441	442	443	444	445	446	447	448	449	450	451	452	453	454	455	456	457	458	459	460	461	462	463	464	465	466	467	468	469	470	471	472	473	474	475	476	477	478	479	480	481	482	483	484	485	486	487	488	489	490	491	492	493	494	495	496	497	498	499	500	501	502	503	504	505	506	507	508	509	510	511	512	513	514	515	516	517	518	519	520	521	522	523	524	525	526	527	528	529	530	531	532	533	534	535	536	537	538	539	540	541	542	543	544	545	546	547	548	549	550	551	552	553	554	555	556	557	558	559	560	561	562	563	564	565	566	567	568	569	570	571	572	573	574	575	576	577	578	579	580	581	582	583	584	585	586	587	588	589	590	591	592	593	594	595	596	597	598	599	600	601	602	603	604	605	606	607	608	609	610	611	612	613	614	615	616	617	618	619	620	621	622	623	624	625	626	627	628	629	630	631	632	633	634	635	636	637	638	639	640	641	642	643	644	645	646	647	648	649	650	651	652	653	654	655	656	657	658	659	660	661	662	663	664	665	666	667	668	669	670	671	672	673	674	675	676	677	678	679	680	681	682	683	684	685	686	687	688	689	690	691	692	693	694	695	696	697	698	699	700	701	702	703	704	705	706	707	708	709	710	711	712	713	714	715	716	717	718	719	720	721	722	723	724	725	726	727	728	729	730	731	732	733	734	735	736	737	738	739	740	741	742	743	744	745	746	747	748	749	750	751	752	753	754	755	756	757	758	759	760	761	762	763	764	765	766	767	768	769	770	771	772	773	774	775	776	777	778	779	780	781	782	783	784	785	786	787	788	789	790	791	792	793	794	795	796	797	798	799	800	801	802	803	804	805	806	807	808	809	810	811	812	813	814	815	816	817	818	819	820	821	822	823	824	825	826	827	828	829	830	831	832	833	834	835	836	837	838	839	840	841	842	843	844	845	846	847	848	849	850	851	852	853	854	855	856	857	858	859	860	861	862	863	864	865	866	867	868	869	870	871	872	873	874	875	876	877	878	879	880	881	882	883	884	885	886	887	888	889	890	891	892	893	894	895	896	897	898	899	900	901	902	903	904	905	906	907	908	909	910	911	912	913	914	915	916	917	918	919	920	921	922	923	924	925	926	927	928	929	930	931	932	933	934	935	936	937	938	939	940	941	942	943	944	945	946	947	948	949	950	951	952	953	954	955	956	957	958	959	960	961	962	963	964	965	966	967	968	969	970	971	972	973	974	975	976	977	978	979	980	981	982	983	984	985	986	987	988	989	990	991	992	993	994	995	996	997	998	999	1000
---	---	--------------------	----	---	---	----	----	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	------